

### 第3回 吹田市環境審議会 議事概要

令和元年(2019年)11月22日(金)

14:00~16:00

吹田市役所 中層棟4階 全員協議会室

#### <出席委員>

上甫木昭春	委員 (会長)	江川直樹	委員	近藤明	委員
芝田育也	委員	三輪信哉	委員 (副会長)	山中俊夫	委員
和田武	委員	小幡範雄	委員	五十川有香	委員
石川勝	委員	浜川剛	委員	木村裕	委員
松尾翔太	委員	山根建人	委員	門杉健一	委員
田中美津也	委員	上口浩幸	委員	中野政男	委員
牛田敏英	委員	小川勉	委員	西田ヒロ子	委員
三田康子	委員	三嶋勝彦	委員	山口耕右	委員

#### <欠席委員>

塚田朋子 委員

※委員25名中24名の出席により吹田市環境審議会規則第5条2項の規定である会議の開催要件を満たしている。

#### <事務局>

辰谷副市長 中嶋環境部長 道澤環境部次長 平野環境政策室長  
楠本環境政策室参事 丸谷主幹 各務主幹 辻本主査 柏木主査  
八木主任 北係員  
(株)建設技術研究所 3名

#### <関係室課>

林地域環境課長 信川環境保全課長 田中事業課参事  
白田資源循環エネルギーセンター所長 福山破碎選別工場長  
山内道路室参事 小原公園みどり室参事 橋本指導室主幹 西指導室主幹

#### <傍聴者> 3名

<次第>

【審議事項】

1 吹田市第3次環境基本計画案について

【報告事項】

2 その他

(1) 吹田市森林整備計画について（報告）

－開会－

副市長挨拶

吹田市第3次環境基本計画素案について

会長

ただいまの説明について、ご意見等あればお伺いしたいと思う。

A委員

フューチャー・デザインの議論を踏まえ、資料3の2ページの目標を「限りあるエネルギーを大切に使う」から「環境に配慮したエネルギーを活用する」に変更するということだったが、方向性としては賛成するが、表現としては、再生可能エネルギーとか省エネルギーを中心とする社会をつくろうという方が、一般的には分かりやすいのではないかと。

事務局（柏木主査）

環境に配慮したエネルギーは、再生可能エネルギーとニアリーイコールと考えている。吹田市の電力調達の考え方に、環境に配慮したエネルギーを調達するというものがあり、市民の意見を踏まえて、環境に配慮したエネルギーを活用するという目標にしたところである。

A委員

市民が見たときに、かえって曖昧な感じがする。7ページに記載されている具体的な取組は再エネと省エネそのものである。タイトルもそうしたほうが私はすっきりすると思う。

事務局（柏木主査）

委員の指摘を踏まえ、もう一度検討する。

会長

フューチャー・デザインの中で前向きな意見が出ており、評価できるが、A委員からご

指摘にあるような議論は何かあったのか。

事務局（柏木主査）

計画自体については計画の性質上、総花的であるため、市民から漠然としているという指摘があったが、エネルギーの文言について分かりにくいとの意見はなかった。市民から出た意見としては「クリーンエネルギー社会への転換」というものであった。

A委員

資料 3 の 7 ページのところ、再生可能エネルギー導入拡大の上から 3 つ目、検討ではなく、実施するという方向性を打ち出したほうがよいのでは。検討だけではやるかやらないか分からず、意味合いとしても弱いと思う。

事務局（柏木主査）

ご指摘のとおりで、検討・推進というところで修正したいと考えている。

会長

その前後が促進とか推進という言い回しになっている。

事務局（辰谷副市長）

新たな設備導入と具体的なことを書いているので、表現としては幅広にさせてもらって、拡大するための促進策の検討実施という形でどうか。

会長

そのあたりも含めて文言の修正をしていただければと思う。

B委員

計画案の 7 ページ、フューチャー・デザインの「2050 年の仮想将来世代からみた 2019 年に行っておくべき重要な施策」の 4 つ目に「太陽光発電設備等の廃棄方法を考えた再生可能エネルギーのシステムの構築」とあるが、設備が古くなったときの廃棄のことか、エネルギーを生み出すときに出てくる廃棄物の処理方法を考えたシステムの構築か、どちらを意味しているか。

事務局（丸谷主幹）

太陽光発電設備が壊れた際の処分をどうするかについて、議論が進んでないことを踏まえての意見だという理解をしている。使用後のというところがわかるような表現に改めさせていただく。

C委員

13 ページに市民団体の全体数を加えてはどうか。また、同じページで学生との連携には具体例がないので、連携されたことがあれば入れてはどうか。

事務局（柏木主査）

団体数は17団体あるので件数を加える。学生連携についても具体例があるので記載する方向で考える。

C委員

16 ページの活動指標のところエコスクール活動簿の評価を入れていただいたが、現状は評価項目が紙と電気と節水の3項目だけとなっているため、食品ロスとか生物保全の項目を指標の中に入れてはどうかと思うが、検討することできるか。その検討の中に、ぜひ子どもたちと一緒に考える検討の機会を入れてはどうかと思うが、いかがか。

事務局（柏木主査）

今後担当部局と先生方と協議して具体的に考えていきたい。

会長

今は3項目に限定して評価されているので、環境審議会の意見として今後充実させてくださいとするのは良いが、そうした場合、今度、中身が変わってくるので、何らかの形で説明を記載することは可能か。

事務局（柏木主査）

追加の項目に関して次の計画からということか。

会長

いえ。それは後ほど議論されると思うので、現状としてエコスクール活動簿の評価はどの項目についてやられているか事実だけを。

事務局（中嶋環境部長）

教育委員会とは次の中間見直し等に向けてどうするか、委員がおっしゃった子どもたちと一緒にという手法をとれるのかも含めて議論させていただく。

C委員

22 ページのコラムで、前回の指摘から修正していただいたところであるが、指摘の趣旨としては、生物多様性に重きを置いて、地域循環共生圏も行っているし、他も行っている、

と書いていただきたかった。今後は生物多様性の全体像を示していただきたいということ  
を意見として申し上げておく。「生物多様性に富んでいます」という部分に線を引くとかア  
ピールはしていただきたいと思う。

また、30 ページのレジ袋の目標値 80%について、第 4 次総合計画や協定と整合を図って  
いるというところは理解しているが、今後は国としてレジ袋有料化が進んでいくので、市  
としてはもう少し高くてもいいのではないかと思うが、これは動かせないか。

事務局（柏木主査）

現状、総合計画や協定で目標を 80%としており、国の動向も日々動いているので、改訂  
版などで検討させていただけたらと思う。

C 委員

18 ページの生物多様性保全イベント参加者数の目標値 3400 人の根拠を教えてください。  
根拠がないのであれば、生物多様性の保全を重要だと思ふ市民の割合の目標値 50%に合わ  
せる数字を使われたらどうか。

事務局（柏木主査）

生物多様性の保全を重要だと思ふ市民の割合について 13.4%のアップを目指すところで、  
この目標値としている。

C 委員

根拠については了解した。また、46 ページ、「SDGs の目標と関係性」とのことでタイト  
ルは変わったが、中身がほぼ一緒である。一番下の文章だけ変えているが、それも違和感  
があるので、文言の整理をお願いしたい。

事務局（柏木主査）

委員のご指摘とおり、一番下の文言は分かりやすい表現に修正する。

D 委員

低炭素社会という言葉が使われているが、他の自治体をみると脱炭素社会という言葉が  
使われている。フューチャー・デザインや地域循環共生圏もそのような形となっている。  
エネルギー分野のタイトルを、「限りあるエネルギーを大切に使う」という表現から「環境  
に配慮した」という表現に修正しているが、「限りあるエネルギーを大切に使う脱炭素社会」  
と変えて、炭素をなくす方向を計画として見せたほうがいいので、「低」を「脱」に変えた  
らどうか。

また、SDGs はパートナーシップとか市民との協働とか連携が大きく取り上げられるので、

市民の認知度向上を図るということよりも、市民とともに SDGs の関係をこれから深めていくために、市民参加の会議を開くとか市民と一緒にいいものを作成するとかの文言が含まれるような形で修正していただけたらどうかと思う。また、48、49 ページの表は、今後変わっていく可能性があるので、例を示すという表現の方が望ましい。

会長

後半のご意見は、第 5 章の修正の方針として受け止めさせてもらったらと思うが、事務局はどうか。

事務局（柏木主査）

文言については、その方向で修正させていただけたらと思う。

会長

もう一つ、低炭素より脱炭素。より強いメッセージを掲げたらどうか。先ほどの A 委員のお話とかなりかぶる話かと思うが、事務局はどうか。

事務局（柏木主査）

第 4 次総合計画に基づきながら進めてきているもので、総合計画では、低炭素という文言で記載をされているので、今後の改訂や次期計画に向けて検討していけたらと思う。

事務局（中嶋環境部長）

今回、環境基本計画の計画期間を総合計画に合わせたのは、総合計画側でもこの審議会の意見を反映しようということで、ご指摘はもっともな部分もあるが、現状では総合計画の表現からもう一步前に行くのは難しい。総合計画の見直しがあれば、合わせて本計画についても中間見直しを行いたいと思うので、同じような議論をして、時代に則した表現に変えさせていただきたいと思う。

会長

ただ、環境審議会として議論があったことは書き込んで、次に同時に計画を見直すときの一つの判断基準として踏まえていただきたい。

事務局（辰谷副市長）

本市は、環境施策だけが全てではないので、脱炭素というかなり思い切った方針であるが、我々として進めていきたいという想いはあるので、大阪府内、全国の動向を見ながら施策を進めていきたいと思う。

#### C委員

国とか動向が今変わっているので言っていたいていると思うので、私もすごく大事なお指摘だと思う。例えば答申の場で、時代に合った文言を総合計画に入れていくとか変えていくとか審議会の意見として出せるのであれば賛同したいと思う。

#### 事務局（中嶋環境部長）

来月初旬に市長に答申する時間を設けており、会長から計画をつくるに当たってどのような議論があったかお話いただくので、その場で問題意識を行政として共有する。今回、変えるのは難しいが、審議会での議論は重いものだと思っているので、今後の施策に生かすという形でしっかり受け止めたいとは思っている。低炭素を脱炭素に絶対すると言い切るのはこの議論だけでは難しいと思っている。

#### 副会長

こうした審議会の議論の内容を附帯意見で残せたらというのが私の個人的な意見である。

#### A委員

脱炭素の方向でないといけないとは思っている。27 ページの下から 2 つ目の項目で、RE100 に向けた再生可能エネルギー比率の高い電力調達というのがある。調達の段階で RE100 にするという意味で入れているのか、市全体のエネルギーの需要を 100%賄うという意味で入れているのか。私は市全体で RE100 を当然目指していくべきだと思うので、「再生可能エネルギーの導入拡大」の前に「RE100 に向けた再生可能エネルギーの導入拡大」としておいた方が前向きですっきりするのではないかという気がしている。

#### 事務局（丸谷主幹）

11 月 1 日付でグループ購入を実施できる事業者と協定を結び、吹田市が行っている電力調達と同じような形で再生可能エネルギー比率の高い電力会社に、市民の皆さんに切り換えていただく場を提供しようという事業の準備を進めている。27 ページの下から 2 つ目の項目の RE100 については吹田市の取組の目玉として、調達を進めていきたいという意味合いになっている。市が率先して進めながら、企業や市民に RE100 を目指せる電力調達の機会などを提供することを包含した意味合いで、言葉が足りてないところがあるかもしれないが、RE100 を目指していく意思表示として書かせていただいている。

#### A委員

市民にも働きかけをするのは非常に重要だと思う。了解した。

#### E委員

22 ページの最後のところ、「能勢町以外の様々な近隣自治体へと拡大を図ります」と書いてあるが、ここまで書いて大丈夫か。

#### 事務局（柏木主査）

吹田市としては北摂全体で地域循環共生圏の構築を目指しているところではある。

#### E委員

相手があることなので、積極的にお願いしたいと思う。また、市民環境団体の紹介があったと思うが、市民環境団体と一緒にやっていくという姿勢がないと、基本計画はできたが、役所がやっている話だということに終わってしまう。パートナーシップについては今後どのように考えているのか。

#### 事務局（丸谷主幹）

パートナーシップは、SDGs のウェディングケーキ図の中でも一番トップにあり、全てに共通することとして掲げられているように非常に重要なものという認識を持っている。今回、市民団体にアンケートをとった際に、吹田市と一緒にできることでアイデアがあったら書いてくださいという項目も設けたが、要望があまり挙がらなかった。市にも責任があると思うが、アンケートに回答いただいた7団体とは、今後特に個別に1団体ずつお話をしたほうがいいかと思っている。今、具体的なものは持ち合わせていないが、何とか今後ともご意見を伺いながら新しいパートナーシップの構築に努めていけたらと思っている。

#### E委員

パートナーシップのところが欠けているのではないかと思ったので、ぜひ積極的に取り組んでいただきたいと思う。

#### 会長

「SDGs の目標と関係性」を補強してくださいという意見が出ているので、特にそこに市民と市民団体との協働を強く呼びかけるような表現を加味していただきたいと思う。

地域循環共生圏のところはどんどん拡大すればよいと個人的には思うが、C委員のおっしゃった生物多様性などは本来一つの自治体で行う話ではないので、この時点での方向性もこれからの検討として書いてもいいかと思う。

最初にA委員から指摘された環境に配慮したエネルギーは、今の議論を聞いていると、ここは再生可能エネルギーという表現の方が良いという感じを受けているが、事務局はどうか。



事務局（丸谷主幹）

事務局で再検討し、最終的には会長と調整する方向でお願いできたらと思っている。

会長

今日欠席の委員の意見の対応はどうされるのか。

事務局（柏木主査）

今日欠席の委員については、事務局から本日までに意見をいただくように連絡しているが、現時点で意見はない。

会長

とりまとめに関しては、私と副会長で事務局と相談して最終案をとりまとめるということによろしいか。

委員一同

（異議なし）

**吹田市森林整備計画について**

会長

ただいまの説明について、ご意見等あればお伺いしたいと思う。

（意見なし）

事務局（平野室長）

計画案について、いただいた意見は、会長、副会長と調整させていただき最終案とさせていただきます。また、本審議会からの答申については、会長から12月2日に頂戴する予定としているので、報告申し上げます。

副市長挨拶

会長

予定の議事がすべて終了したので、今回の環境審議会を閉会する。